

飛 翔

石川県立金沢西高等学校同窓会

〒920-0344 石川県金沢市畝田東3-526
TEL 076-268-4321/FAX 076-268-7329
URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~nishih/>



危機を乗り越えて40年

同窓会長 石動 博一
(3期生/昭和54年卒)



金沢西高校は、今から40年前の昭和49年の1月に石川県立金沢西高等学校の設立が認可され、同年4月に金沢市緑が丘の教育センターを仮校舎としてスタート、翌年3月にようやく藤江の新校舎に移転しました。当時、私が第3期入学生として入学して初めて、一年生から三年生まで揃った、当時とても新しい学校でした。校舎も生徒も先生も新しづくめで、田んぼの中を通る一本道、生徒の間では「シベリア街道」と言われていた道路でさえも、まだ未舗装でした。

それから約20年後、金沢西高校に危機が訪れました。石川県庁の駅西への移転に伴い、西高校の移転・統廃合問題が持ち上がったのです。当時の同窓会は、まだ新しい学校という事で全員まだ30代。しかし「金沢西」という名前を残すために、石川県知事や県議会へもお願いにあがり、その努力の甲斐があって、現在の畝田の校舎に、平成10年に無事に移転できたのです。あの時の同窓会を支えた、先輩方の力が無ければ、今回、40周年を迎える事は出来ませんでした。

すでに卒業生は、13,000人を超え、県内外の各界で活躍していますし、金沢西高校は、文武両道に優れた素晴らしい高等学校として、その名声は高まり続けています。同窓会としても、全教室へのクーラーの設置に伴う、資金繰りへの協力や、西高祭への協力として、同窓会ブースを出展したり、PTAに対してのバザーの協力や年に一度の合同懇談会など、学校の為にできる事を模索し、活動し続けています。

更に今年は、40周年に向けて、記念事業を企画し、各年代の同窓会が開けるような、きっかけ作りや、その連絡に伴う費用の一部負担などを通して、同窓会活動を活性化し、前述した統廃合の危機に立ち上がった先輩達のように、母校の発展のために力を尽くしたいと思います。

挨拶

学校長 太田 淳子



本校は、昭和49年4月に開校し、平成8年度には、本県の全日制高校では初めての普通科単位制高校に移行し、以来、個性伸張・学力向上・進学重視の教育に邁進してきました。今年度は節目の創立40周年を迎え、9月28日の創立記念式典に向けて、現在準備を進めておるところでございます。卒業生は既に1万3千人を越え、県内外のいろいろな分野・各界で活躍されています。特に、昨年度は、西高初のプロ野球選手が誕生し、全校が喜びに湧きました。また、新学習指導要領の完全実施の年で、四年制大学志望者の割合が多くなっていることもあり、1年生より順次、学年制に変更することになりました。このように、西高は県民のニーズに応えるべく、進化し続けてゆきます。

昨年度は、歴代の校長が掲げてきた「西からの新しい風」、西高旋風を吹かせたいという強い思いでスタートし、弓道部、陸上部、フェンシング部、レスリング部等が全国選抜大会に出場しました。また、多くの部がベスト8以上に入り、県高校総体の女子の総合成績が県で第4位、公立高校ではNo.1のすばらしい結果を取ることができました。

進学においても、卒業生315人のうち7割以上が四年制大学へ進学し、特に、国公立大学については100名合格を目指し、金沢大学10名、富山大学31名を始めとして80名が合格するなど、進学校としての地位を確立しつつあります。

今年度は、県より昨年度指定された「高等学校連携による教育力向上推進事業」を引き継ぎ、部活動の勢いを勉強につなげ、文武両道のバージョンアップを図るとともに、読書活動の一つの試みとして一昨年度指定された「魅力ある県立学校づくり推進事業」による絵本・紙芝居制作・読み聞かせの活動を、さらに発展させてゆきたいと思っております。

以上、私たち職員一同、生徒の輝かしい未来と本校の飛躍と発展のため、また県民の期待と信頼に応えるために、心一つにして頑張っていきます。同窓会の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【特別企画】

谷内 亮太 選手 インタビュー

金沢西高校から初のプロ野球選手誕生

昨年の12月4日、ホテル日航金沢に於いて、プロ野球ドラフト会議で東京ヤクルトスワローズから6位指名を受けた谷内亮太選手の激励会が、金沢西高校野球部OB会の主催により催されました。会場には学校関係者や同窓生ら約150人が集い、母校初のプロ野球選手となる谷内選手の門出を祝福、エールを贈りました。同窓会では谷内選手にインタビューをお願いしたところ、高校時代の思い出や現在の心境などを語っていただきました。(インタビュー：8期生 澤田 幸宏)

澤田 西高が野球で優勝するというのは大変な話ですよな。

谷内 そうですね。

澤田 そのときは選手でしたか。

谷内 2008年春の県大会で初優勝したときは、自分は3年生でキャプテンです。

澤田 2011年秋の北信越県大会での優勝が2回目ですか。

谷内 そうです。一番最近が2011年の秋です。そのときは自分はもう卒業していますね。

澤田 1回目の優勝のときに電話がかかってきて、「西高が勝ったんだって」「何ですか?」「優勝した」と。星稜や遊学館がいるのに、なぜ西高が勝つのだと。あの試合はなぜ勝ったのでしょうか。

谷内 あのとときは、正直、運も味方に付いていたのかなとは思いますが。

澤田 向こうはレギュラーですか。

谷内 もうバンバンにレギュラーです。

澤田 バンバンにレギュラーだったのですか(笑)。西高は、谷内さんはすごいにしても、他にもすごいメンバーはいたのですか。

谷内 大学で続けたメンバーはいませんが、他から比べたら結構そろっていたと思います。

澤田 なるほど。先ほどもお聞きしましたが、なぜ西高が優勝できたかという秘訣を。

谷内 そうですね。あの当時は本当にチームワークだと思います。

澤田 チームをつくるのはキャプテンの仕事なので、リーダーである谷内さんはどういう思いでチームをつくっていったのですか。どういった方針だったのでしょうか。

谷内 自分の場合は、常に前向きに戦える環境をつくったつもりです。あとは、当時のメンバーはすごく個性が強く、力もありましたし、メンバーが力を出しやすい環境を自分がつくってあげて意識していました。

澤田 西高の生徒というのは、正直言って西高に行った理由は「なんとなく」が多いのですね。

谷内 ああ、そうですね(笑)。

澤田 谷内さんからアドバイスをいただければ。

谷内 そうですね、自分も本当に同じ感じなのですが、大学で最後キャプテンもして、最終的にミスがあっても勝つように仕向けるというのが、自分の中で1つ意識し

ているところで、試合の途中に幾つミスはあると思うのですが、それを反省するのは試合が終わった後で、今一番やらなければいけないことをその試合では続けてやっていこう、最終的に勝ちに持っていければその試合は問題ないのだからという意識でやっています。

澤田 西高は練習施設がすごく乏しいでしょう。ナイターもできるんですけど。

谷内 一応(電気は)つきます(笑)。

澤田 練習量は多かったのですか。

谷内 練習量は自分たちで確保したところがあります。正直、全体の練習時間は限られていますし、それ以外のところで各自がどれだけ練習するかという意識は、自分たちの代はすごく高かったなと思います。

澤田 各自というのは学校外で。

谷内 基本的には学校内です。ベーシックな練習ですけども、ティーバッティングしかり、キャッチボールしかり、ロングティーしかり、やはり単純な練習を数多く平然とこなせていたのが自分たちの代のメンバーかなと思います。

澤田 そのとき野球部は何人くらいいましたか。

谷内 3年生は20人弱です。17人。下が多かったのです、そうですね、70人いないくらいですかね。

澤田 西高はその厳しさというのはどうなのですか。

谷内 多分、私立のような厳しさはないと思います。だからといって別にお気楽で、仲良し集団でやっているわけではないですし、西高生に合った良い緊張感でやっているのではないかなと思います。

澤田 あのととき、先生はどなたでしたっけ。

谷内 井村(茂雄)先生です。

澤田 井村先生の教育の方針はどうですか。

谷内 スパルタではないです。そんなに厳しく怒鳴るような先生ではないので。特に自分たちの代は、本当にやりやすくやらせてもらったというのが一番ですね。



谷内 亮太 選手

澤田 のびのび野球ですか。

谷内 そうですね。

澤田 話は戻りますが、そもそもなぜ西高に来たのかというところだけお聞きしたいのですが。

谷内 文武両道でやりたかったというのが一番ですね。どちらも中途半端にしくなかつたですし、しっかりどちらも取り組めるという点で、西高をまず意識したということと、あとは公立高校に行って私立と勝負したいという気持ちがあったので、それで決めました。

澤田 中学のときも野球を。

谷内 はい、やっていました。

澤田 中学はどちらでしたか。

谷内 清泉中学校です。軟式でやっていました。

澤田 そのときもピッチャーですか。

谷内 そうですね。最後はピッチャーです。基本的には内野手ですけど。

澤田 ショートというのは一番ややこしいところではないですか。

谷内 はい。

澤田 今回ホームページで記事を見たときも、本当に書いてあることが、センスが良くて、実直に、まじめに、本当に今日お話ししても、本当に素直で、こんなショートがいたら安心ですよ。

谷内 本当ですか(笑)。ありがとうございます。

澤田 私のチームは、ショートがうまいんだけど、ちょっと鼻が高いんですよ。扱いにくくてね(笑)。

谷内 そういうショートはたくさんいます。

澤田 文武両道でいきたいという話でしたが、それは大学を見据えていたのですか。

谷内 いえ、大学では野球をするつもりは特になかったもので、高校野球で終わりかなという気持ちでやっていました。ところが、3年の春に優勝して、もっと上のレベルでやってみたいという気持ちが芽生えたので、大学でも野球をすることにしました。

澤田 実際にプロに行くというときは、スカウトが来るではないですか。やはり意識しますか。

谷内 しないと言ったらうそになりますね。どこの球団がいるとかは分かりませんが、多少見られている思いながらやっていました。

澤田 緊張して手が震えるとかはなかったですか(笑)。

谷内 そうですね、最初の方はやはり意識するとプレー



激励会にて井村監督からエールを受ける谷内選手

がすごく崩れましたが、そんなことをして自分の評価を下げるくらいだったら、そんなことは考えないで自分ができることをしっかりやって評価された方がまだましだなと思って。

澤田 スカウトはどれくらい前から来るのですか。

谷内 それはちょっと分かりません。どこで見ているかも全然分かりませんし。

澤田 スカウトを意識したのはいつごろですか。

谷内 最終学年になってからは常に見られている、見ていなくても見られているつもりでやっていました。他の選手を見にきていても、自分の動きが目についてもらえるように。そういうことも意識しながらプレーしてましたね。

澤田 でも6位というのはすごいですよね。

谷内 そうですね、ぎりぎりですけど。

澤田 ドラフトでは12球団あって1巡目2巡目とあって、やはり呼ばれるかなと意識していましたか。

谷内 そうですね。呼ばれるつもりで準備はしていましたが、正直呼ばれるかどうか分からなかったので、下位の方で心の準備をしながら。

澤田 待っているのは結構つらいですよ。

谷内 つらいですね。

澤田 他の球団からもオファーはあったのですか。

谷内 一応、あと2球団から調査書は来ていました。ヤクルトを含めて3つですね。

澤田 でも無事決まって、これからプロになってどういうことを思うかということをお聞きしたいのですが。

谷内 今までいろいろな方々に支えてもらってこういう形になったと思うので、活躍して良い結果を報告することで少しでもその方々に恩返しをしたいなと思いますし、金沢西高校初のプロ野球選手ということなので、少しでも西高の名を全国に売れるようにやっていきたいなと思います。

澤田 どうもありがとうございました。

谷内 ありがとうございました。

澤田 今お話を聞いていても、本当に素晴らしい選手ですね。

(構成:編集部 敬称略)



インタビューー 澤田 幸宏

進路状況報告

大学等合格者数一覧
(2009年～2013年) 進路指導課

●国立大学

学 校 名	'09	'10	'11	'12	'13
北見工大			1	1	
室蘭工大	1			4	
北海道大					1
秋田大			1		
岩手大		1			
山形大		1			2
福島大	1			1	
茨城大			1		
群馬大	1				
筑波大				1	
埼玉大	1	2			
電気通信大				1	
東京学芸大		1	1		
横浜国立大				2	
新潟大	1	2		1	
長岡技術科学大		2			
金沢大	5	4	10	11	10
富山大	21	22	15	20	31
福井大	2	2	4	1	4
山梨大		1			1
信州大	1	1	1	1	
岐阜大			1		
静岡大				1	
三重大	1				
滋賀大			1		
京都教育大				1	
奈良教育大		1			
和歌山大				1	
鳥取大	4		2	2	1
島根大	2			2	
山口大	1				
徳島大				1	1
愛媛大		1			
高知大			1		
長崎大			1		
宮崎大				1	
琉球大	1		2	1	
国立合計	43	41	44	52	51

●公立大学

学 校 名	'09	'10	'11	'12	'13
青森県立保健大					1
秋田県立大	1				
群馬健康科学大	2				
群馬県立女子大					2
高崎経済大	2		3	2	
前橋工科大	3				
神奈川県立保健福祉大	1				
横浜市立大	1				
新潟県立大		1	3	1	3
新潟県立看護大	1				
富山県立大	11	5	2	4	3
石川県立大	10	7	4	6	5
石川県立看護大	4	4	9	4	3
金沢美術工芸大		2	2	1	1
福井県立大	7	7	5	1	1
都留文科大	2	1	1	1	
静岡県立大	1			1	
静岡文化芸大				1	2

学 校 名	'09	'10	'11	'12	'13
愛知県立大	1		1	1	
滋賀県立大					2
大阪市立大		1			
大阪府立大			1		
神戸市外国語大			1		
神戸市看護大	1				
兵庫県立大	1		1		
奈良県立大	1				
鳥取環境大					1
岡山県立大	1	1		1	2
尾道大			1		
県立広島大	1				
広島市立大					1
福山市立大					1
高知県立大		1			1
高知工科大				1	
公立合計	51	31	34	25	29

国公立合計 94 72 78 77 80

●私立大学

学 校 名	'09	'10	'11	'12	'13
金沢医科大	4	5	2	5	5
金沢星稜大	34	60	87	78	64
金沢工業大	101	74	51	103	108
金沢学院大	15	13	20	6	14
北陸大	4	3	5	12	24
金城大	25	18	13	24	15
北陸学院大	6	7	10	9	15
福井工大		2			4
仁愛大		6	1		4
獨協大		3			
文教大		1			3
青山学院大		1	1	1	1
学習院大		1			
国立音楽大		1			
専修大	2	1	1	1	1
國學院大	2	1	3		
北里大	2				
駒澤大		5	3		
芝浦工大	1		1		
上智大		1	4		
多摩美大					1
拓殖大	3		3	2	1
帝京大	3	2	1	3	1
東海大	2	1	6	1	1
成蹊大		3		1	
成城大					2
創価大	7	1	6	2	
大東文化大	4				
東京理科大			1		
東京農大	1	4		2	1
東洋大					2
日本大	2	6	2	8	3
日本体育大	1		3	1	
日本女子体育大	1				3
法政大	1	4	2	3	2
明治大		5			
立教大		2	1		

学 校 名	'09	'10	'11	'12	'13
早稲田大		1			
神奈川大	5	8	2	3	2
新潟医療福祉大	1		1	2	
岐阜聖徳学園大				1	
岐阜医療科学大		2	2	2	1
愛知大		1	1		
愛知学院大	1	2	4	2	1
中京大	5	10	7	8	2
名古屋外大	3				3
名古屋商大		2	1	2	3
南山大	1				
日本福祉大	2	4			8
名城大	3	1	4	3	1
京都外大	1	6	8	3	3
京都産業大	21	26	61	92	29
京都女子大	1		1	2	5
京都橘大	2	3		3	10
京都薬科大			1		
同志社大		1	3		3
同志社女子大	4	1	1	1	3
佛教大	1		3	7	2
立命館大	3	7	13	14	7
龍谷大	11	9	13	18	5
大阪工業大	5	3	1		
大阪産大	1	2	6	1	3
大阪体育大		4	1		1
関西大	3	6	1	8	5
関西外大	5	9	4	14	5
近畿大	9	6	6	15	8
関西学院大		1	1		
神戸学院大	6	1	7	1	2
神戸女子大	2	1	2	1	4
武庫川女子大	1		1		2
奈良大	2	2	2		
私学合計	320	350	385	472	394

●短期大学

学 校 名	'09	'10	'11	'12	'13
金沢学院短	12	7	3	1	9
金城大短大部	14	2	5	5	17
小松短	1	2	2	1	1
星稜女短	10	8	14	15	7
北陸学院大短大	6	5	13	12	6
福井医療短					1
創価女子短	1	2			
長野県短	1			1	
岐阜市立女子短	2			1	1
滋賀短					2
京都女子短		2			
関西外大短大部	4	2	1	3	1
武庫川女大短大			2		2
短大合計	51	30	40	40	48

●専門学校

学 校 名	'09	'10	'11	'12	'13
石川県総合看護専	1	7	9	14	12
金沢医療附看護	8	9	10	9	10
金沢看護専		6	6	7	16
石川県立保育専門	3	4	5	7	7
専門学校合計	12	26	30	37	45

同窓会活動報告

■平成23年度事業報告

- | | | | |
|-----------------|------------|---|-----------------|
| 1 平成23年度同窓会懇親会 | 日時 | 平成23年4月22日(金)午後6時30分より | 学校代表・PTA役員との懇親会 |
| | 場所 | ANAクラウンプラザホテル金沢 | |
| 2 平成23年度同窓会理事会 | 日時 | 平成23年8月19日(金)午後4時より | |
| | 場所 | ANAクラウンプラザホテル金沢 | |
| 3 平成23年度同窓会総会 | 日時 | 平成23年8月19日(金)6時30分より | |
| | 場所 | ANAクラウンプラザホテル金沢 | |
| | 議件 | ①平成22年度会計報告と事業報告
②平成23年度事業計画
③西高祭への参加について(模擬店出店・PTA主催バザーへの協力) | |
| 4 平成23年度同窓会後援事業 | 1) 新聞広告 | 高校野球開幕広告・祝高校合格の広告 | |
| | 2) 部活動支援事業 | 懸垂幕／野球部新聞広告後援／吹奏楽部定期演奏会後援 | |
| | 3) 西高祭への参加 | 模擬店出店・PTA主催バザーへの協力 | |
| | 4) 西高グッズ製作 | 西高クリアファイル・キティちゃんTシャツ・キティちゃんタオル | |

■平成24年度事業報告

- | | | | | |
|------------------|----------------|---------------------------|----|------------------|
| 1 平成24年度金沢西高校連絡会 | 日時 | 平成24年6月12日(火)午後7時より | 議件 | ①新校長・新副校長・新教頭紹介 |
| | 場所 | ANAクラウンプラザホテル金沢 | | ②学校代表・PTA役員との懇親会 |
| 2 平成24年度同窓会理事会 | 日時 | 平成24年8月28日(火)午後5時より | | |
| | 場所 | ANAクラウンプラザホテル金沢 | | |
| 3 平成24年度同窓会総会 | 日時 | 平成24年8月28日(火)午後6時30分より | | |
| | 場所 | ANAクラウンプラザホテル金沢 | 議件 | ①平成23年度会計報告と事業報告 |
| | | | | ②平成24年度事業計画 |
| | | | | ③懇親会 |
| 4 平成24年度同窓会後援事業 | 1) 新聞広告 | 高校野球開幕広告・祝高校合格広告 | | |
| | 2) 部活動支援事業 | 懸垂幕／野球部新聞広告後援／吹奏楽部定期演奏会後援 | | |
| | 3) 西高祭への参加 | 模擬店出店・PTA主催バザーへの協力 | | |
| | 4) 社会人セミナー支援事業 | | | |
| 5 創立40周年記念事業準備 | | | | |

40周年祝賀会のご案内

祝 賀 会

- 日時／平成25年9月28日(土) 18:30 受付
- 場所／金沢国際ホテル 19:00 開宴
- 会費／5,000円

お気軽にご参加ください！

※詳しくは同封の「祝賀会のご案内」をご覧ください。

創立40周年にあたって今思うこと

中川 順次 (2期生/昭和53年卒)

あれから早いもので40年近く経ちました。私自身歳をとったなど実感します。7年前に母校に赴任した時は、低迷していた男子バスケットボール部を立て直そうと意欲に溢れていましたし、実際結果も出すことができ、このまま順風満帆で成長していくように感じていましたが、受験戦争の波や推薦制度がなくなるなど、厳しい現実が将来待っているように思われて仕方ないです。今は部活も勉強も結果を挙げているからいいですが、このバランスが崩れると非常に厳しい状況になり、学校全体に活気がなくなるのではと危惧しています。学年制から単位制に、そして再び学年制へと変わった今、本当の意味で西高校がどこに進むべきか真剣に考える時だと思います。他校を真似することなく、もっとオリジナリティを出して、本当に活気がある学校になることを願っています。

創立40周年に寄せて

元林 裕二 (3期生/昭和54年卒)

私は3期生でテニス部に所属していました。当時学校の周辺には中央病院以外何もないながら、球技大会、体育祭、文化祭など生徒と学校が一緒になって考えながら行い、とても活気があったように思います。野球部が夏の県予選に出場することになり、応援団を作り県立球場で応援をするなど、本当に一から作り上げているという感じがありました。

4年前に赴任した時、当時の学舎はなく、母校という感じはありませんでしたが、始業式で生徒たちが歌う校歌を聴いた瞬間、何とも言えない感慨を覚えました。今、西高校は文武両道を謳い、たくさんの部が活発に活動し成果をあげ、また、進学の方でも国公立大学を含めて多くの生徒が頑張っています。ただ、私たちの頃と違い、学校行事が減り、進学のための補習に追われる生徒たちを見ると、それが進学校の定めなのかもしれませんが複雑な気持ちになることも確かです。今後本当の意味で文武両道の学校として飛翔していくことを願います。

おしらせ

石川県立金沢西高同窓会フェイスブック参加方法

facebook ページ上部にある検索にて「金沢西高同窓会 第〇期」と入力し、それぞれの連絡ページを開きましょう。

(リンク先例 <http://www.facebook.com/groups/309648445838128>)

ページ右上にある「グループに参加」をクリックし、管理人からのリクエスト承認をもらうと参加することができます。



編集後記

今回、同窓会会報誌を担当させていただき、先生方をはじめ、沢山の方々にご協力をいただいてなんとか発刊できました。ありがとうございます。私たち同窓生は、今まさに、社会の第一線で活躍している人達ばかりであり、後輩たちの頑張りによって母校の名をこの先もずっと言えることを希望します。

「何か解らんけど西高っていいよね。」そういう校風がいつまでも続くように、これからも応援し見守っていきたいと思います。 同窓会副会長 大畑晃一(5期生/昭和56年卒)



石川県立
金沢西高等学校
同窓会

飛 翔

〒920-0344 石川県金沢市畷田東3-526
TEL 076-268-4321/FAX 076-268-7329
URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~nishih/>

印刷・デザイン ヨシダ印刷株式会社
〒921-8546 石川県金沢市御影町19番1号
TEL 076-241-2141/FAX 076-243-4515
URL <http://www.yoshida-p.jp/>